



2011年5月9日

報道関係各位

株式会社インテック

『EXAGE™ (エクセージ)』の使用許諾第2弾 NOSQLを実現するソフトウェア
EXAGE / Database をクラウド EXPO で発表
性能の制限なき拡大と即時処理の分散実行を可能にするデータベースを
本年11月よりご提供開始

ITホールディングスグループ（以下ITHDグループ）の株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：金岡克己、以下インテック）は、独自に研究開発を行ったPaaS(Platform as a Service)ソフトウェア『EXAGE™(エクセージ)』の使用許諾第2弾として、本年11月からNOSQL型データベースの提供を開始いたします。また、来る5月11日から開催される“クラウドコンピューティング EXPO 春”へ出展しその機能や内容を初公開いたします。

■EXAGE (エクセージ)

EXAGEはインテックが独自に研究を続け自社開発を行った国産開発のPaaS(Platform as a Service)ソフトウェア技術です。

EXAGEの使用許諾の第1弾としては、昨年12月にIAサーバとスイッチを用いてスケールアウトストレージを実現するリアルクラウドソフトウェアEXAGE / Storage 2.0を発表いたしました。今回その第2弾として本年11月にEXAGE / Databaseの提供を開始いたします。また、提供に先立ち、EXAGE / Databaseの特徴や性能を5月11日から13日まで東京ビックサイトで開催される“クラウドコンピューティング EXPO 春”に出展展示し公開いたします。

EXAGE/ Databaseで動くアプリケーションプログラム開発の簡易さを、Java言語での活用例などで説明いたします。なお展示場所は東展示棟、ITHDグループブース内です。11日14時、12日13時と16時、13日15時には展示会場内でのミニセッションを行います。ぜひ会場で次世代NOSQLの詳細をご覧ください。



(NOSQLとは)

Relational Database (RDB)とは異なり、SQL言語を利用しない、新しいデータベース技術の総称です。Not Only SQLの略称とも言われています。最近では、多数のコンピュータで分散してデータベースを構成することにより、スケールアウト可能なNOSQLが注目を集めています。

(リアルクラウドとは)

インテック 先端技術研究所では、膨大な計算資源や格納容量を1つの処理能力や論理空間と

して利用可能な、処理能力も容量も無限にスケールアウトできる技術をリアルクラウドと呼んでいます。それはまさに、世界中どこでも同一のサービスを提供するために必要不可欠な技術であると考えています。

■EXAGE / Database

EXAGE / Database は、多数のコンピュータ群を巨大な 1 つのデータベース資源として利用できる、スケールアウト型 NOSQL データベースです。

EXAGE / Database は、キー(key)とバリュー(value)の対をデータの単位として扱う分散 KVS (Key-Value Store) のひとつで、次のような特徴をもちます。

1) 拡張性

P2P の技術を応用することにより、スケールアウト型のデータ空間を実現。

サーバ(データを保存するためのコンピュータ)を追加するだけで、データ空間を容易に拡張することが可能です。

2) 信頼性

保存されたデータは永続化と同時に複製を作成。

物理的に異なる複数のサーバ上にデータを保持することでデータの信頼性を確保します。障害時のフェールオーバーやデータの再配置などもすべて自動的に行います。

3) 運用性

サーバの追加／削除や障害時のハードウェア交換なども容易。

運用の手間を大幅に削減することが可能です。

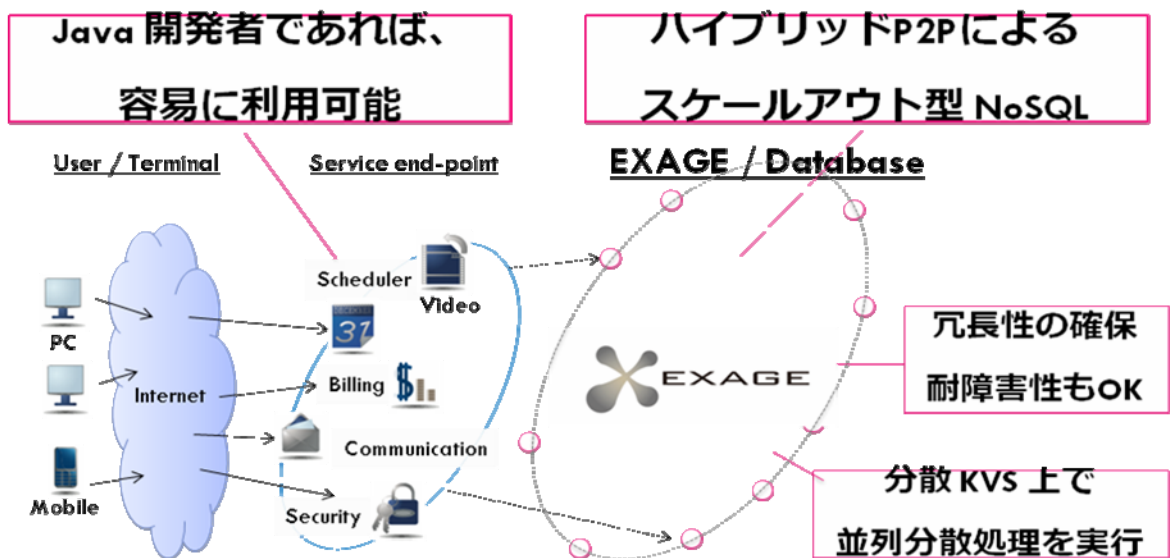
さらに、EXAGE / Database は、直感的な開発を可能とする独自の開発フレームワークを有しており、次のようなメリットをもつ、大規模なアプリケーション基盤を実現することが可能です。

○ リアルタイム並列分散処理

サーバのコンピュータリソースを用いてデータの処理が可能です。サーバの台数が多ければ、それだけ大量の処理を同時に行うことが可能。EXAGE / Database は、データ空間だけではなく、データの処理能力もスケールアウト可能であり、大規模なリアルタイム並列分散処理フレームワークを提供します。

○ 簡単で直感的な Java 開発が可能

EXAGE / Database では、通常の Java プログラミングの感覚で開発が可能です。データの永続化はもちろん、拡張性や信頼性の確保に注意を払う必要はないので、アプリケーションロジック(アプリケーションの仕組みそのもの)に専念できます。さらに、前述の並列分散処理でさえ、通信や分散環境も意識することなく、直感的で分かりやすいプログラミングが可能です。



図： EXAGE / Database の特徴

■EXAGE / Database の適用例

EXAGE / Database は汎用的なアプリケーション基盤として様々な利用シーンが考えられますが、特に多数の処理をリアルタイムにこなす必要がある、大規模なシステムでの利用に適しています。

EXAGE の持つリアルクラウドとしての特徴が特に活かせる代表的な EXAGE / Database の適用例には以下のようなものがあります。

1) モバイルアプリケーション、ソーシャルアプリケーション

従来の RDB では同時に処理できるデータ量に限界があると言われていました。

EXAGE / Database はスケールアウト型のデータ空間に加え、大量の処理を分散してリアルタイムに処理できることを強みとしており、同時に多数のユーザからのアクセスを処理する必要があるようなアプリケーション、特に、モバイルアプリケーションや、最近話題のソーシャルメディアなどで、その特徴が活かされます。

2) センサーや機械から送られるデータの即時処理

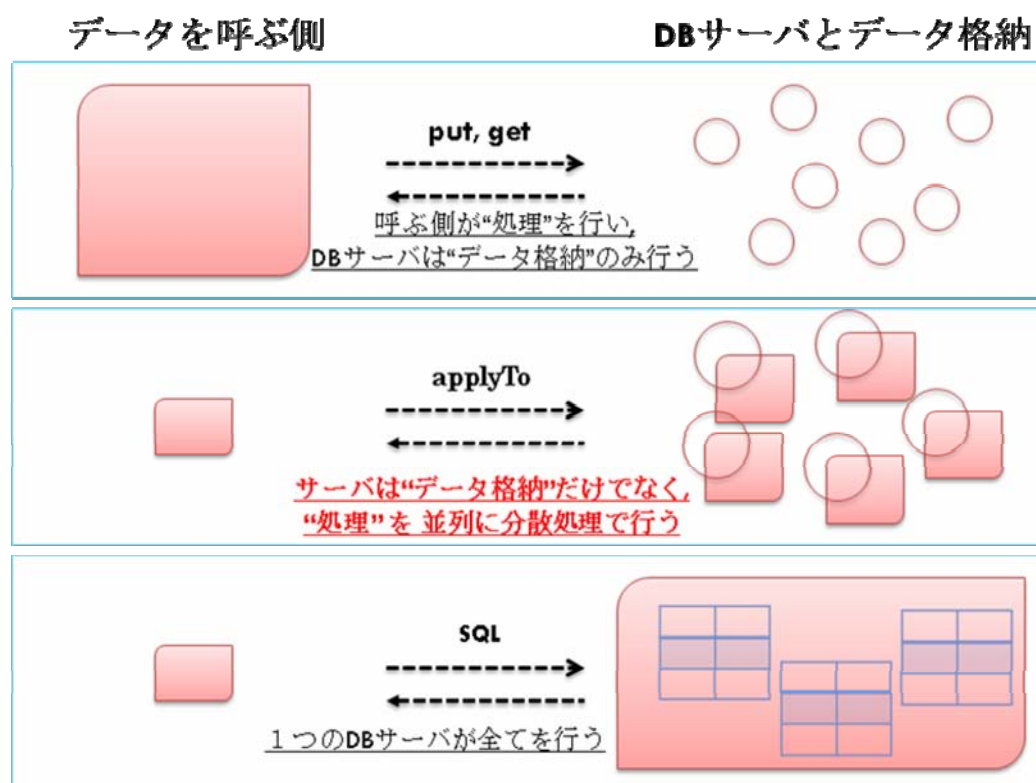
自動販売機やセンサーなど機械から送られてくるデータから意味のある情報をとりだすような用途など、数値の蓄積だけでなくダイナミックで即時性を求められる大量データの処理に EXAGE / Database の拡張性や高い処理性能が効果を発揮します。

■他のデータベース、他のKey-Value Store との違い

EXAGE / Database はHadoop など他のKey-Value Store やRelational Database と異なる特性を持っています。主な違いを以下の表に記します。

	KVS	EXAGE / Database	RDB
レイテンシー	◎	○	○
リレーション	×	×	◎
プログラミング	×	◎	◎
分散処理	×	◎	×
一貫性：コンシステンシー	△	△	○
冗長性：リダンダンシー	○	○	×
失敗時のリカバー	○	○	△
スケールアウト	◎	◎	×

また EXAGE / Database はデータ格納だけでなく、その処理を分散してデータベースノードに振り分ける仕組みを内包しています。この特徴を図示したものを以下に示します。



■使用許諾の内容と料金

EXAGE / Database は使用許諾型の月額料金を予定しております。

■評価使用

EXAGE / Database ベータバージョンの評価使用を予定しております。IA サーバとスイッチをご用意頂くことで使用可能です。詳細についてはお問い合わせ先へご連絡ください。

■今後の予定

今回クラウド EXPO に出展・発表した EXAGE / Database に続き、以下のようなラインナップを提供してまいります。

- ・マルチテナント、多地点データセンター接続などを可能にする EXAGE / Storage 3.0
- ・多様なアプリケーション開発をご支援する EXAGE / Software Development Kit

インテックでは、EXAGE / Storage 2.0, EXAGE / Database に続き、今後新たに追加する予定の上記 PaaS 機能群を含め、多くの皆様にリアルクラウドのもたらす限りない可能性をご活用いただけるよう、引き続き研究ならびに製品の開発を進めてまいります。

以 上

『EXAGE』は、株式会社インテックの商標です。

◆ITHD グループのクラウドへの取り組みについて

ITHD グループは、クラウドキャッチコピー「Our Cloud, Your Dream」を掲げ、クラウド時代をリードする豊富なサービスラインナップとクラウド技術を、新しいアイデア・付加価値で最適に活用し、お客さまビジネスの夢を支えるクラウドを提供してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテック 先端技術研究所営業部 杉信／平井

TEL:03-5665-5011 FAX:03-5665-5095

E-mail:info_cloud@intec.co.jp

EXAGE ホームページ <http://exage.intec-si.co.jp>

インテックホームページ <http://www.intec.co.jp/>